鶸

大きさ山がらにて、けいろ山がらの白き所も不レ殘かば色に赤し、山がらのるいなり、諸事山がらにかはる事なし、まれに山がらの内にまじりわたる、

〔飼鳥必用下〕愛染柄

此鳥秋日光ちゝぶよりも出、江戸にても間々とれし事有、此鳥山がらの替り共付ず、尤塒をすれば山がらとなる、飼方山がらに同樣也、

〔武江產物志〕山鳥類　あんじんから　稀なり

〔嚢嚢抄一〕鳥類字　鶸（ヒタキ）

〔運歩色葉集鳥名〕鶸（ヒタキ）

〔書言字考節用集五氣形〕鶸（ヒタキ）同　鵖

〔本朝食鑑六林禽〕火燒鳥　訓比多岐

釋名、鶸嚢抄鵖古俗、按、鶸字書音翁、鳥名、字義未レ詳、鵖者老鶫之名、此鳥頭不レ禿則亦未レ詳、從レ翁從レ鵖俱訓二比多岐一、不レ知二何故一爾、

集解、鶸大如レ雀、頭青頷頰純黑、背翮灰赤有二黑斑一、翅上有二一重白羽一、一重黑羽一而相次、髀脚蒼黑、其聲清而多囀、一種有二黃（キ）火燒者一、狀稍小而頭黑、眉黃頰頷胸腹亦皆黃、自二眼後一至レ背純黑、背後腰間並黃、翅尾純黑而翅間有二白羽三四箇一、其聲亦清滑、兩種皆不レ知二其味一也、

〔和漢三才圖會四十三林禽〕鶸音翁　出二嚢抄一、俗云比太木　鶸字義未レ詳、

按、鶸大如レ雀、○中略其聲清亮多囀、如レ曰二比伊古止比伊古止一、

黃（キ）鶸（中略）一名金花

一種　形色似レ鶯而眼圓大、其鳴聲與レ鶸相似、

〔喚子鳥上〕雪ひたき　ふがひ　生ふ八分、あをみ入、紛壹匁、

大きさかたち鶯ににたり、總身あい色のるりいろ、のどよりはら白くわきばらにかきいろの毛